

ポイント

養液と微霧による「ハウレンソウ生産システム」により、安全安心なハウレンソウの周年販売を実現

- システムにより最低限の養液等を自動投下。データに裏打ちされた高付加価値ハウレンソウの生産が可能に
- 微霧冷房加湿装置により安定した栽培を実現、年間収穫回数及び年間収量を約 1.5 倍～2 倍に
- 農家等の取引先との信頼関係を築き、持続的・継続的な収益に繋がるビジネスモデルを構築

企業基本情報

所在地	群馬県伊勢崎市境栄 754
電話/FAX	0270-74-0208/0270-74-0772
URL	http://www.g-is.or.jp/kigyou/syogyo/kurihara.htm
代表者	代表取締役 栗原直貴
設立	1950年
資本金	1,000万円
従業員数	7人



会社概要

種苗・肥料・農業資材等の販売に加え、近年は作物育成指導などの農業支援サービス等を実施。2010年に農商工連携の計画認定を受け、養液土耕栽培用希釈装置を応用した「ハウレンソウ生産システム」を開発し、低コストで品質の良いハウレンソウの安定生産に成功。2011年には大手食品メーカー等と共同で農業生産法人を設立。2014年には農地集積バンクを活用し、山梨県で本格的なハウス栽培を開始。高級スーパーや高級居酒屋等での販売の実現に貢献している。

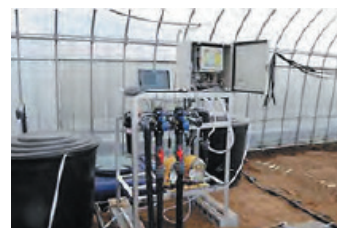


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 日射比例システムでデータに裏打ちされた高付加価値ハウレンソウを生産

同社が開発したハウレンソウ生産システムは、千葉大学との共同研究により、既存の養液土耕栽培希釈装置を応用したもので、日射量に比例して必要最低限の水や肥料等を投下するシステムである。このため、当該システムで生産されたハウレンソウは、余分な肥料（硝酸態窒素）が蓄積されず、糖度、栄養素（ビタミンC、ミネラル、葉酸）が高く、大きくて柔らかい、データに裏打ちされた高付加価値なハウレンソウとなっている。



日射比例システム

▶▶▶ 微霧冷房加湿装置により、効率的に年間収穫量の増加を実現

ハウレンソウ生産システムにより、水や肥料の投下を自動化することで、肥料の計算管理や日々の水やり等の作業負担を大幅軽減し、農作業の業務効率化に大きく貢献。また、当該システムは、ミスト冷却により高温障害を抑え、冬季の乾燥時には加湿を行う飽差状態に近い微霧冷房加湿（ミスト）装置も付加されており、夏場においても安定した栽培を実現。年間収穫回数を通常の4～5回から7～8回に、年間収量も約2倍に増加させるなど、業務効率化と生産性の向上を同時に実現。



日射比例&ミストシステム

▶▶▶ 信頼関係を築き、持続的な収益に繋がるビジネスモデルを構築

同社のハウレンソウ生産システムは納入により完結せず、その後も、栽培そのものに関わりを持つことが多く、季節毎の営利用栽培品種、栽培用肥料、防除用農薬 としてより良い環境にするための土壌改良材等の販売や育成の相談など、納入先との様々な取引関係が継続される。こういった多面的な関係を継続することで強い信頼関係を構築しつつ、持続的な収益に繋がるビジネスモデルとなっている。



品種・施肥・栽培方法・防除方法などの説明会